

モザンビーク共和国月報（2020年8月）

主な出来事

【内政】

- 新型コロナウイルス（第2回目の緊急事態宣言）
- カーボデルガード州情勢（ニュシ大統領、テロ攻撃はガス開発に影響を与えないと発言）
- カーボデルガード州情勢（テロリストがモシンボアダプライア港を占領、ISが画像を公開）
- カーボデルガード州情勢（モザンビークとタンザニア：最大の共通課題であるテロとの闘い）
- ロシアがモザンビークに軍事基地を計画、ドイツの機密文書が明らかに

【外交】

- モザンビーク、南部アフリカ共同体（SADC）議長国に
- ニュシ大統領、世銀総裁とオンライン会議
- ニュシ大統領、新型コロナウイルスに関するアフリカ連合オンライン会議に参加

【経済】

- 新型コロナウイルス対策関連
- 中国企業グループによる石炭火力発電所の事業調査報告書
- 中国製漁船の建造他

【内政】

新型コロナウイルス（第2回目の緊急事態宣言）

8月5日、ニュシ大統領は第2回目の非常事態を宣言した。効力は、8月8日から30日間。緊急事態宣言中、経済活動は3段階に分けて緩和される。第1段階は、8月18日から開始され、大学・技術学校・防衛学校・教師及び医療従事者育成のための学校の授業再開が含まれている。9月1日から始まる第2段階では、映画館・劇場・カジノ・ジム・自動車学校等中程度リスクと考える活動が再開される。10月1日から始まる第3段階はモザンビークの中等教育最終学年である12年生の授業再開が含まれている。

（8月6日付、フォーリャ・デ・マプト紙電子版）

カーボデルガード州情勢（ニュシ大統領、テロ攻撃はガス開発に影響を与えないと発言）

ニュシ大統領は、モザンビーク北部カーボデルガード州のいくつかの郡で発生しているテロ攻撃は、ガス開発の実施に影響を与えていないと発言したが、テロ攻撃によって住民に大きな影響がでており、避難することを余儀なくされている住民も多数いる。

（8月12日付、msn紙電子版、VOA紙電子版、カルタ・デ・モザンビーク紙電子版）

カーボデルガード州情勢（テロリストがモシンボアダプライア港を占領、ISが画像を公開）

8月11日、テロリストがモシンボアダプライアを占領した。同郡は重要かつ戦略的

な要所と考えられている。8月5日から5日間に亘り、モザンビーク軍と交戦し、軍の弾薬が尽きた頃、テロリストは、インフラ施設を占領し始めた。ISは、広報チャンネルに亡くなったモザンビーク軍兵士、モシンボアダプライアの2つのテントでとらえた武器と弾薬の画像を投稿した。この戦闘で、55名のモザンビーク兵が死亡し、90名が負傷したと推定される。

(8月13日付、サポ紙電子版)

カーボデルガード州情勢(モザンビークとタンザニア:最大の共通課題であるテロとの闘い)

カシーケ駐モザンビークタンザニア新大使の信任状奉呈式で、ニュシ大統領は、2国間の国境管理に関して外交ルートを通じて迅速に対応するよう要請した。タンザニアと国境を接する2つの州の1つであるカーボデルガード州は、2017年10月からテロリストの攻撃を受けており、モザンビーク当局及び国際社会は今年初めになって、テロの脅威と公式に認めた。

(8月13日付、サポ紙電子版)

ロシアがモザンビークに軍事基地を計画、ドイツの機密文書が明らかに

ドイツ外務省の機密情報によると、ロシアは、民間企業保護のために、モザンビークを含む6カ国に軍事基地を設立する計画を有している。機密情報にアクセスしたドイツ新聞ビルドは、ロシアが軍事協力を強化し、中央アフリカ共和国、エジプト、エリトリア、マダガスカル、モザンビーク、スーダンに軍事基地を設立するという予定である、と明らかにした。

(8月14日付、サポ紙電子版)

【外交】

モザンビーク、南部アフリカ共同体(SADC)議長国に

モザンビークは、南部アフリカ開発共同体(SADC)年次総会で、タンザニアから議長国を引き継ぐ。今年は、新型コロナウイルスのため、オンライン形式で行われる。第40回SADC首脳会合とその準備会合は、2020年8月10日から17日にオンライン形式で行われる。モザンビークは、アルマンド・ゲブーザ前大統領政権時の2012年、SADCサミットを開催した。

(8月6日付、サポ紙電子版)

ニュシ大統領、世銀総裁とオンライン会議

8月10日、ニュシ大統領はデイビット・マルパス世銀総裁とオンラインで会談した。会談では、世銀が支援する開発プログラムを評価し、モザンビークの持続可能な開発を実施するため、今後の取るべきアクションについて話し合われた。本会談で、世銀は、農業セクタ

一、特に S U S T E N T A 計画を支援するために 5 億ドルの供与を表明した。
(8月11日付、ノティシアス紙)

ニュシ大統領、新型コロナウイルスに関するアフリカ連合オンライン会議に参加

20日、SADC議長を務める、ニュシ大統領は、アフリカ連合のオンライン会議に参加した。アフリカ大陸で110万人の感染者をだしている新型コロナウイルスに関して話し合われた。

(8月20日付、ノティシアス紙)

【経済】

主要経済指標

- ・ 名目 GDP : 149.3 億米ドル(2019 年 : 世銀速報値)
- ・ GDP (1 人あたり) : 498.9 米ドル(2018 年 : 世銀)
- ・ GDP 成長率 : 3.3% (2018 年, IMF 推定)
- ・ 輸出 (通関ベース) : 51.9 億米ドル (2018 年中銀)
主な輸出品は、石炭、アルミニウム、電力、天然ガス、重砂、たばこ、貴金属、砂糖。
- ・ 輸入 (通関ベース) : 61.6 億米ドル (2018 年中銀)
主な輸入品は、機械類、ディーゼル、ポーキサイト、建築資材、自動車、電力、医薬品。
- ・ インフレ率 : 3.9% (2018 年通年, 国家統計院)

経済関連など

新型コロナウイルス対策関連

・ 13日、モザンビーク経団連 (C T A) は、コロナ禍による経済への影響の調結果を発表した。本年最初の6ヶ月 (上半期) に、モザンビーク企業は、約 4 億 5,300 万米ドル (約 310 億米ドル) の事業損失を被り、これにより 30,000 人以上の従業員を解雇した。事業活動のレベルは平常時から約 65% 減少し、特に、観光分野が最も影響を受け、平常時の 75% 以上事業が減少した。

コロナ禍による経済への影響は、本年の後半から終わりにかけて更に悪化し、モザンビーク企業の事業損失は約 9 億 5,100 万ドル (国内総生産の約 7%) となり、雇用の停止は年末までに 63,000 人に上る可能性があり、この人数は、モザンビークの民間部門の雇用量の約 11% に相当する。

CTA の最悪のシナリオでは、コロナ禍による経済活動の悪化により、GDP が 0.5% 程度のマイナスを記録すると予測している。(オパイス紙)

・ 20日、モザンビークの公共交通機関、シャパ (ワゴンバス) の運転手集団は、4月に制定された新型コロナウイルス対策の一環である公共交通機関の乗車定員 3 分の 1 規制法令

に抗議するためにストライキに入った。乗員上限の変更と運行路線の柔軟な変更を所管官庁、マプト市議会に求めた。(オパイス紙)

・21日、エルビディーナ・マテルーラ文化観光大臣は、新型コロナウイルスの影響で文化施設を含む観光分野の収入は、例年比で95%以上減少したと述べた。同大臣が議長を務める観光分野に与える影響の予備的評価会議の調査によると、1,199の事業所が新型コロナのパンデミックにより閉鎖された。閉鎖された事業所の内訳は、レストランなどの飲食業61%、ホテルやその他の宿泊業31%、旅行代理店、ダンスホール、カジノ等8%となっている。

なお、モザンビーク政府の公式記録によると観光分野に従事する労働者66,592人の雇用に影響が生じていると見られる。(オパイス紙)

モザンビーク・中国関係

中国企業グループによる石炭火力発電所の事業調査報告書

・5日、中国企業、Ncondenzi Energy社はテテ州における石炭火力発電所建設計画の調査報告書を電力公社(EDM)に提出した。同社は、2023年からテテ州モアティーゼ郡で採掘される石炭を利用した火力発電所の建設計画を準備している。同発電所は第一段階では300MW、その後1,800MWまで増強される予定で電力は南アやジンバブエなどに輸出される計画である。GE社とChina Machinery Engineering Corporation(CMEC)が事業パートナーとなっている。(ノティシアス紙)

モザンビーク企業がジャック・マー支援のビジネスコンペティションの最終ラウンドに進出

・12日、中国のビジネスマン、ジャック・マー主催のビジネスコンペティションであるアフリカ・ビジネス・ヒーローズ(ABH)の最終ラウンドにモザンビーク企業が進出した。

ABHの発表によると、アフリカ全体で22,000以上の応募があり、21カ国から50人をファイナリストに選出したと発表している。

進出したIDEALAB社は、インキュベーションに関連する新興企業のうち、ポルトガル語圏から唯一のファイナリストとなった。ABHの決勝大会は、本年11月中旬から12月の間にエチオピアの首都アディスアベバにて開催される。(マカウハブ紙)

中国製漁船の建造他

・12日、モザンビーク海域で操業予定の5隻の中国漁船に名前が付けられた。漁船は中国

国営海運重工業有限公司の子会社である中国海運工業有限公司が上海で建造し、先週、船主である広東人民海外漁業有限公司に納入された。また、船の命名式には、中国企業がモザンビークに所有するモザンビーク・ホット・インターナショナル・グループと広東水産品商工会議所の代表者が出席した。

・広東人民海外漁業有限公司が、モザンビークで、魚介類を冷凍処理するための工場（床面積 40,000 平方メートル）の建設と工場の近くに全長 300 メートルの岸壁を建設するために、8,800 万元(約 1,270 万米ドル)を投資したと発表した。(マカウハブ紙)